No. 272

大学別・難関大 ULTIMATE CHEAT SHEET

早稲田大学 社会科学部 英語攻略チートシート

2025年度の改革で60分に。設問は42→26問、2026年度は24問。残ったのは英語圏メディアの長文4本と、ほぼ同じ4種類の設問。

Web版はこちら

ここだけ3行

1. 独自英語は60分。2024年度以前の過去問は長文だけ抜いて60分で
2. 設問は空所・語彙言い換え・主旨・内容一致の4つが中心
3. 1本15分。1本まるごと落とすと24問中6問を失う

◆ 改革前後の形式マップ

2025年度から共通テスト120点＋独自試験120点。英語は独自60点(60分)＋共テ外国語40点。

年度	大問	誤り指摘	長文	設問合計
2022〜2024	5題	10問	4本×8問	42問
2025	5題	6問	4本×5問	26問
2026	4題	廃止	4本×6問	24問

◆ まず押さえる3つの事実 3

☐ **1 英語は60分**

2026年度の時間割は外国語13:00〜14:00。90分と書いた古い情報に注意。設問の激減は時間短縮と整合する。

☐ **2 英語の比重は約42%**

独自25%に見えるが、共テ英語40点を足すと240点中100点。総合問題型・数学型のどちらでも英語は必須。

☐ **3 2026年度は読解に一本化**

誤り指摘が消え、長文4本だけに。1本の設問は空所2＋語彙2＋主旨1＋内容一致1の6問で、4本とも同じ並び。

◆ 4類型の攻略法 4

5年20本すべての設問がこの4つに収まる。設問文の型は似ているが、選ぶ個数は毎回確認する。

☐ **1 空所補充(5年60問)**

選択肢は品詞・形がそろえてあり、4つとも文法的には入ることが多い。前後1文ではなく段落全体で決め、入れて音読し次の文とつながるか見る。正解は次の文で言い換えられていることが多い。

☐ **2 語彙言い換え(39問)**

選択肢は英語の説明文で、形がそろえてある(4つとも否定の説明、4つとも became＋形容詞など)。接頭辞からの連想は効かない。英英の言い換えで覚えておく。

☐ **3 主旨(20本すべて)**

記事は冒頭がエピソードで、第2〜3段落で一般化されることが多い(主張の位置は記事による)。第1段落と最終段落を見て、具体例だけを指す選択肢を消す。

☐ **4 内容一致 TWO(20本中18本)**

6つ前後から2つ。正解探しより消去:①always / only などの言い過ぎ ②常識では正しいが本文にない ③主語・目的語や因果のすり替え。2つマークしたか指で数える。

◆ 語彙言い換えに出た語(過去5年) 10

英語の言い換えとセットで。選択肢が説明文で並ぶ社学にそのまま効く。

語	英語の言い換え	意味
☐ **unprecedented**	never having happened before	前例のない
☐ **spearhead**	lead	先頭に立って進める
☐ **redemptive**	saving, restoring	救いとなる
☐ **devise**	invent, work out	考案する
☐ **decry**	criticize publicly	公然と非難する
☐ **proliferate**	spread rapidly	急増する・広まる
☐ **whittle down**	reduce	少しずつ削る
☐ **condemn**	criticize strongly	強く非難する
☐ **tramp**	walk heavily	重い足取りで歩く
☐ **vex**	annoy, trouble	悩ませる

◆ 英字メディアの頻出語(同レベルの候補) 18

記事が「出てもおかしくない」として挙げた語から抜粋。

語	英語の言い換え	意味
☐ **curtail**	cut back	削減する
☐ **bolster**	strengthen	強化する
☐ **undermine**	weaken gradually	徐々に損なう
☐ **exacerbate**	make worse	悪化させる
☐ **mitigate**	lessen	和らげる
☐ **scrutinize**	examine closely	精査する
☐ **hinge on**	depend on	〜次第である
☐ **usher in**	bring about	到来させる
☐ **phase out**	gradually stop	段階的に廃止する
☐ **dwindle**	become smaller	次第に減る
☐ **entrenched**	firmly established	根深い
☐ **rampant**	widespread and uncontrolled	はびこる
☐ **contentious**	causing disagreement	論争を呼ぶ
☐ **tenuous**	weak, uncertain	薄弱な
☐ **incremental**	step by step	少しずつの
☐ **backlash**	strong negative reaction	反発
☐ **watershed**	turning point	転換点
☐ **overhaul**	complete reform	抜本的な見直し

◆ 出典は英語圏の主要メディアが中心

表は主な媒体。単行本は5年間ゼロ。収録11本の実測で1本674〜1,345語(平均約

872語)。

媒体	出た年度
The Guardian	2022〜2026(5年連続)
The Economist	2022・2024・2025・2026
The New York Times (Magazine含む)	2022・2024・2025・2026
The Wall Street Journal	2022・2025・2026
The Washington Post	2023・2024

記事型の英文の読み方

冒頭は具体的な事件や場面(ある店、ある授業、ある人物)、次に一般化、専門家の見解やデータ、最後に見通し。**冒頭のエピソードは主張ではない**。テーマは国際政治・経済が軸だが、手話や安定結婚問題(マッチングの数学)のような社会・文化の話も入る。週3回、上の媒体から国際・経済面の800語前後の記事を1本読むのが記事の勧める対策。

◆ 60分の時間配分

時間	やること	ポイント
0〜1分	4本の長さを見る	短い順に番号を振る
1〜15分	1本目	空所と下線語の位置に印→通読しながらその場で処理
15〜43分	2本目・3本目(各14分)	15分・29分で区切りを確認
43〜56分	4本目	必ず着手。主旨とTWOだけでも埋める
56〜60分	見直し	TWOを2つマークしたか、マークずれ

◆ 2027年度に向けての注意(記事の予想) 4

☐ **1 予想:長文4本・24問前後**

誤り指摘廃止後のオール読解が定着すると記事は予想(確度:高い)。4類型は変わらない(確度:極めて高い)。

☐ **2 予想:誤り指摘の復活は低い**

10→6→廃止の流れ。ただし語彙・空所も構文把握が前提なので文法は捨てない。法学部・人間科学部と併願するなら正誤の練習は役に立つ。

☐ **3 予想:媒体とテーマ**

The Guardian・The Economist が軸。硬い国際政治・経済2本+社会・文化寄り2本の配分。

☐ **4 要確認・関連シート**

制度は2025年度に始まったばかり。**その年度の募集要項と最新の過去問**で確認。難単語は『早稲田の過去問に出た英単語BEST100』で補う。

◆ ここで落とす!ひっかけ 4

☐ ✕ ~~2024年度以前の過去問を90分で通し演習~~
○ **長文4本だけ抜いて60分で解く**
設問形式は同じでも時間感覚がまったく違う

☐ ✕ ~~un- だから「否定」の選択肢を選ぶ~~
○ **4つとも否定の形。意味で選ぶ**
選択肢の形はそろえてある

☐ ✕ ~~ニュースで知っている内容を選ぶ~~
○ **本文に書いてあるものだけ**
時事テーマなので「知識で正しい」が最大の罠

☐ ✕ ~~TWO型で1つだけマーク~~
○ **必ず2つ**
20本中18本がTWO型

◆ 確認テスト

1 The storm caused ＿＿ damage; nothing like it had been seen before.
a tenuous b entrenched c incremental d unprecedented

2 The new law may ＿＿ the problem rather than solve it.
a curtail b bolster c mitigate d exacerbate

3 As online shopping boomed, small online shops ＿＿ during the pandemic.
a dwindled b vexed c proliferated d decried

4 The company plans to ＿＿ gas-powered cars by 2035.
a hinge on b whittle down c usher in d phase out

5 The deal ＿＿ on whether both sides accept the terms.
a tramps b phases c ushers d hinges

6 社学の長文で、主旨設問の根拠として ＿＿ だけを使うのは危険。
a 冒頭のエピソード b 段落全体の流れ c 一般化された主張
d 第1段落と最終段落の両方

◆ 解答

1 unprecedented never having happened before
2 exacerbate make worse。rather than solve と対比
3 proliferated spread rapidly
4 phase out 段階的に廃止する
5 hinges hinge on＝〜次第
6 冒頭のエピソード 記事は場面から入ることが多い。主張は一般化の部分に

参考資料 原田英語｜早稲田大学社会科学部英語徹底研究 過去5年分析＆2027年度 超絶入試予想(設問42→24問の変化と4類型)／原田英語｜早稲田大学学部別英語入試難易度・形式マップ

もっと無料で学ぶなら
原田英語.com
究極の英単語帳(PDF印刷)・共テ単 キョウテタン・共通テスト満点チートシート・英文法大全・英作文超絶採点くん・時事英語ナビ…
受験に役立つ無料の英語アプリと、約2,800本の記事。
原田英語.com
ほかのチートシート(全439本・無料)